

名取優徳と私

印象文+理由文

(シャイな人)

F組みの秋、パクジョン

1. 名取優徳

優徳の第一印象はシャイな少年でした。話によると男子中学校を出て、男子高校を出たらしくて、勝手に女が苦手なのかなと思いました。私がそう思った理由は、話すときに目もあわせなかったし、質問もあまりしなかったからです。実は私とあまり親しくなりたくないのかなと思いました。でも、ある日、同じ友達がいることを分かって一緒に食事したりだんだん親しくなりました。相互ちょっと楽になってからは目もあわせながら話すし、私にも質問するようになりました。第一印象はシャイな少年みたいだったが、今はそうではありません。むしろ、その印象が変わりすぎて、あわてるぐらいです。チームと散歩に行ったときも、いっぱい話したし、私が意地悪いはずもしたりして本当に楽しかったです。優徳のことを知り合えるようになって、うれしいです。これから仲良い友達として付き合いたいと思っています。

2. 特に聞きたいテーマ：名取優徳の素顔はなんだろうか

第一印象は大学生の男ではなく、ただの少年でした。ですので彼女もいなさそうだったし、もしいるとしても幼馴染の女の子みたいな感じの子でした。でも、実際親しくなって話してみた彼はそうでもなかったのです。むしろ、シャイとも言えない人でした。多分化コミュニケーションの授業のことでLINEしたことがあったんだが、実際に話してみると本当にかたいのにちょっと違いました。実はもっと分からなくなる切っ掛けになりました。ですので私はあえて名取優徳の素顔をテーマとして指定し、もって知っていきたいと考えています。

まず、前同名取優徳の第一印象について話したところ、ある部分はあると言いました。それは最初に見た女にはシャイな人だということです。でも、だんだん楽になって、親しくなると大丈夫だということです。そして男子高校だけだということです。そして、はじめてみた時、私は私とあまり親しくなりたくないかなと思いました。それは違うと言いました。ただの人見知りだと答えました。また、優徳君の素顔が知りたくて黒板に書いてある質問をしてみました。「大切なことは何ですか？」と聞いたところ、優徳くんはすごく悩みました。しばらく時間がたって「しいて言えば、睡眠時間かな」といいました。そのとき、私は、えっ？睡眠時間が大切なことなのか

な、ものじゃないんだ、大切なのは自分の心理状態なのかなと思いました。また、「最近、興味があることはなんですか？」と聞いたら、あまりないと答えました。またしばらく考えて「サッカーです」と答えました。その答えを聞いてやっぱり男は男だなと思いました。

正直に言ってまだ、優徳君のことは知りません。でも分かるようで分からないのは事実です。ですのでこれからもっと交流をしながら優徳のことの素顔を知りたいと考えています。とにかく私はもっと知りたいのは事実なので課題はこれでおわりますが、もっと自分なりで考えたりする予定です。

3.話し合いの結果

実を言うと、素顔もまだ分からないし、どうしたらいいのか分からなくなりました。素顔って長い時間そばで見る人にしかわからないことではないのかと考え始めました。なのでどんなテーマがいいか悩みましたが、急にテーマを帰ることはできないと判断し、インタビューのときもっと聞こうかなと思いました。まず、自分が興味がある分野と暇なときはなにをしながら暇つぶしをしているのかなど日常生活のことについてもっと聞こうと考えました。

3-1.6月13日の話し合い

私と優徳は三階の講義室で話し合いました。久しぶりだったのでちょっとぎこちなかったんですが、何分あったら元通りになりましたので、インタビューを始めました。今回はちゃんと聞こうと思ったので最初から「優徳が最近興味を持っているのは何？」と言いました。すると、また悩み始めました。しばらく経って「サッカーなのかな、しいて言えばスポーツ！」と答えました。私はスポーツには興味がないので聞くことができないと判断し「私はスポーツに興味ないから他の趣味はないの？」と言いました。すると最近の興味はカラオケだと答えました。先日、カラオケでばったり会ったことがあって、そのときのことから話し始めました。歌がうまいか聞くと最初はどのように「うん、うまい！」と答えました。実はぜんぜんそう見えなかったもので、ずっと疑って、じゃカラオケ行こうよ！と言ったら、実はうそ！下手だよ！と答えました。もっと話すと、高校生のときはカラオケに行かなかったみたいだが、大学生になってからよく言ってるらしいです。何でカラオケが好きと聞いたら、歌を歌うことや音楽が好き、また歌うとストレス発散にもなるのでよく行っていると答えました。これを行ってからバイトの話がたまたま出たのでその話をしたら時間が終わってしまいました。

3-2.7月6日の話し合い

私が6月26日に眼科に行って学校を行けなかった所以他のところで待ち合わせをしました。私が行けなかったことだから私が行くべきだったのに、優徳が私のところに来てくれたので、本当に感動しました。また、やっぱり何だかんだ言っても優しいんだなと思いました。優徳がその後、用事があると

言っていたので、さっさとインタビューを始めました。先日の続きに何に興味があるのと聞いたら今回はどうどうに トランプマジックと言いました。たまたまトランプを持っていたのですようになりました。優徳は二つのマジックを見せましたが、二つともトリックがばれました。（でも、二つとも最初に見たときは本当に驚きました）マジックのトリックがばれる前までは、かつこよく見えました。でも結果、失敗してへたくそだとずっとからかいました。実は、うまいと思ったんですが、からかうと反応が面白くてずっとへたくそだとからかいました。その後いろいろ話しましたが、あまりにも個人情報だったので書けないが、打ち明けてくれてありがたく感じました。

4.まとめ

最初に思った まさのりは、ただ人見知り激しくて、親しくなれない人だと思いました。でも、だんだん親しくなったらはそうでもなかったのです。こういうテーマに指定してよかったと思いました。まさのりは一見、大人そうに見えるかもしれないが、まだ子供みたいに意地引っ張るところもあり、怠け者でした。でも、親しくなった人には優しくしていると考えました。また周りの人とそれなりに精一杯付き合っているんだなと思いました。一番見習いたいと思った点は自分がいやと思ってもその人に対してに表に出さないところです。まさのりとインタビューができて嬉しかったです。

5.授業を終えて

一文化、コミュニケーションとは何か

文化コミュニケーションとは、言葉だけではなくこの人のことを理解することだと思えます。国境を越えて本当にその人のことをちゃんと見てあげるのが文化コミュニケーションだと思いました。この授業を聞く前は、先入観を持っていた国がないというは嘘です。でもこの授業を通してうちのグループだけではなく、いろいろな国の人々を話せるようになって、私がどれだけおろそかな考えを持っていたのかについて反省した部分もありました。ある国を考えたならその国の対しての印象でその人を客観化してみるのではなく、その人自体をみるのが本当の文化コミュニケーションではないかと思いました。

一授業について

最初にインタビューのことを聞いたときはどうしたらいいのか心配した部分もありました。インタビューされるのは答えるだけなのでそんなに大きく新倍はしてなかったが、インタビューしてそれをまとめてレポートを書かなければならないと言うことを聞いて、どうしたらいいのか心配になりました。でも思ったより面白くて、良い経験だと思いました。なのでこの授業を選んでよか

ったと思いました。